過去に実施したプログラム

過去に科学技術コミュニケーション推進事業が実施したプログラムです。

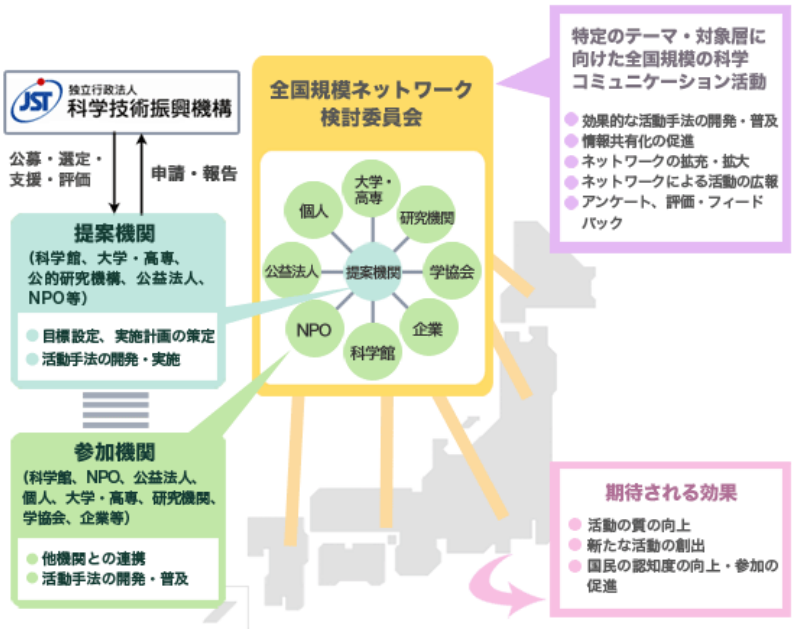
全国規模ネットワーク支援
- プログラム概要
- 支援企画一覧

草の根型プログラム
科学館開発支援
調査研究・モデル開発
地域科学館連携支援事業
ロボット・実験学習メニュー開発支援事業
理科大好きボランティア事業
研究者情報発信活動推進モデル事業
おもしろ教材がいっぱい

全国規模ネットワーク支援とは？

「科学技術コミュニケーション推進事業」は国民が科学技術や理科に触れる機会を充実させ、国民の科学技術についての興味・関心を深めることを目的としています。
「全国規模ネットワーク支援」は、全国規模のネットワークを持つ機関・団体がそのネットワークを活用して行う、科学コミュニケーション活動に効果的な活動手法の開発と普及に対し支援します。(原則３ヶ年度)。

※平成22年度までは「地域の科学舎推進事業」として実施していましたが、 平成23年度より「科学技術コミュニケーション推進事業」として実施します。



趣旨

国民の科学技術についての興味や関心、理解をより一層深めて頂くための活動(以下、活動)を活性化させるため、特定のテーマや対象層に対する活動を実施している様々な活動主体が参画する全国規模のネットワーク(以下、ネットワーク)において、相互に情報を共有するとともに効果的な理解増進活動手法を開発・普及する取組を支援しています。
これにより、活動内容の紹介・普及、効果的な活動手法の開発・共有を図り、個々の活動の質を高め、新たな活動を創出し、全国への周知・国民の認知度向上・活動への参加促進を図ることを目指しています。

実施体制

特定のテーマや対象層に対するネットワークにおいて中核的な活動を実施している機関を提案機関とし、ネットワークに参加し活動を実施する機関・個人(以下、参加機関)で構成される体制に対して支援を行っています。

提案機関

企画全体の総括機関・運営の実行機関としてネットワークの中核となり、責任を持って業務を推進します。

- 法人格を持ち、JSTと契約(実施協定)を締結して業務を実施します。
- 主／副担当者を置き、計画を推進します。

- 主な参加機関を委員とした運営に関する委員会を組織し、委員会の了解を得て以下の活動を展開しています。
  - 同じテーマを持つ機関等へのネットワーク参加呼びかけ、連携のコーディネート、助言等
  - 報共有化の促進、ネットワークによる活動の広報
  - 効果的な活動手法の開発・普及
  - ネットワークによる活動の報告・評価
  - 今後の発展へ向けてのフィードバック

参加機関

ネットワークの趣旨に賛同し活動を実施する様々な活動主体で、科学館・科学系博物館、大学、高専、公的研究機関、学協会、公益法人・非営利法人、民間企業、非営利の各種団体、個人などから成ります。

ネットワークについて

- 特定のテーマや対象層(小学生、成人など)等を設定し、活動を実施する参加機関が連携しています。
- 参加機関の所在地および活動地域は全国に広く分布しています。
- ある程度の広域で提案機関を核としたネットワークを既に構築しており、本支援で更に拡充・発展を行っています。

支援内容

- 活動にかかる経費を支援しています。
- 物品費、旅費、謝金、会議開催費、通信運搬費、印刷製本費、借損料、役務費、保険料、一般管理費等及び人件費(ただし、人件費は1,000万円程度まで)などを支援しています。
- 各年度3,000万円程度、但し人件費は1,000万円程度
- 活動にかかる経費を支援
  物品費、旅費、謝金、会議開催費、通信運搬費、印刷製本費、借損料、役務費、保険料、一般管理費等及び人件費(但し人件費の上限は600万円)
- 各年度1,200万円を上限とする。

ページトップへ

ご利用条件 プライバシーポリシー

Copyright © 2013 Japan Science and Technology Agency (JST). All Rights Reserved.

本事業は終了しており、ご覧いただいているページは事業運営当時のウェブサイトをそのままPDFにしているものであるため、外部リンクの接続や拡大・縮小機能等は使えません。ご了承ください。
※報告書等のPDFファイルは本ページから直接たどることができます。